

## [012]健康科学表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4782087>

---

出版情報：健康科学. 12, 1990-03-28. 九州大学健康科学センター  
バージョン：  
権利関係：

## 投 稿 規 定

### 1. 投稿資格

- 1) 本誌への投稿は原則として九州大学健康科学センター教職員（教官・兼任教官・非常勤講師・技術系職員）および研究生とする。但し研究生・技術系職員の場合は、指導教官との連名とする。
- 2) 著者複数の場合、うち少なくとも1名が本センター教職員であればよい。但し First Author が本センター教職員以外の場合は、本センターと研究上密接な関係にある者で、本センターの施設・設備等を使用した共同研究であり、特に編集委員会で適当と認めたものとする。

### 2. 原稿の種類

綜説, 原著論文, 研究資料, 紹介とし, 和文でも欧文でもよい。

### 3. 掲載順序

編集委員会で決定する。掲載順序は当分の間「健康科学掲載順序について（第9巻）」に準ずる。

### 4. 原稿執筆規定

- 1) 用紙：(1)和文原稿の場合は九州大学健康科学センターのA4版400字横書原稿用紙を使用する。  
(2)和文ワープロ原稿の場合はA4版の大きさで一頁400字（20×20）になる様に印字して提出する。  
(3)欧文原稿の場合はA4版、または国際版（216×280mm）タイプ用紙を使用する。
- 2) 原稿：第1枚目は原稿用紙の上半分に表題、著者名、所属を記し、下半分に原稿の種類、原稿用紙枚数、図表の数、別刷希望部数を記入する。原稿は初校時に返却する。
- 3) 原著論文の抄録（Abstract）：第2枚目には、和文の場合は欧文抄録（表題、著者名、所在地と、研究の目的・方法および結果が理解できる文章を500語以内）をダブルスペースでタイプしたもの、欧文の場合は、800字以内の和文抄録を付ける。なお、タイトルの単語の頭文字は大文字とする（但し、前置詞は除く）。
- 4) 図表：説明は原則として欧文（抄録と同じ国語）で適切な題目をつける。図表の番号は図1、表1、Fig. 1, Table 1とする。図表はすべて本文とは別紙（図表ごと）とし、本文中に挿入する個所を欄外に記入する。原図はそのまま製版が可能なものとする。
- 5) 項目：項目の順番は次のとおりを原則とする。  
(1) 大項目; 緒言, 方法, 結果, 考察など  
(2) 大項目より小項目; 1, 2, …, 1), 2), …, (1), (2), …, ①, ②, …
- 6) 引用文献：本文中で引用文献に言及した場合、文章の右肩か著者名の右肩に末尾の文献表に照合する番号をつける。3人以上の共著の場合、“たち”, “ら”, “et al.”を用いる。  
例1. 朝比奈たち<sup>3)</sup>によれば……  
例2. Asmussen & Nielsen<sup>3),4)</sup>によれば……
- 7) 文献表：末尾文献表の順序は著者名のABC順に整理して本文中の番号と照合する。文献表の著者名は省略しないで全部記入する。  
(1) 雑誌から直接引用する場合  
番号) 著者名（共著者の場合はコンマ（,）で続ける）：論文表題, 掲載雑誌名, 巻数（号数を示す場合は巻数の後に（号数）でつなぎ、ゴシック体とするため下線をつける）：始頁-終頁, 西暦年数。  
例 1) 山田裕章, 峰松 修, 冷川照子：自己実現尺度（SEAS）の世代による違いについて。健康科学, 10 : 49-57, 1988.  
2) Kawasaki, T., Uezono, K., Ueno, M., Omae, T., Matsuoka, M., Haus, E. and Halberg, F.: Comparison of circadian rhythms of renin-angiotensin-aldosterone system and electrolytes in clinically healthy young women in Fukuoka (Japan) and Minnesota (USA). Acta Endocrinol., 102 (2) : 246-251, 1983.

## (2) 単行本から引用する場合

引用頁の書き方は1頁のときは p.(小文字の p の後にピリオド), 複数頁のときは pp.(小文字の pp の後にピリオド), 引用箇所が限定できないときは総頁数を Pp.(大文字の P と小文字の p の後にピリオド) として記載する。

## ① 普通のもの

著者名：書名. 版数(必要な場合), 発行所, 発行地(欧文の場合), 西暦年数, 始頁-終頁.

例 3) 徳永幹雄, 金崎良三, 多々納秀雄, 橋本公雄: スポーツ行動の予測と診断. 不昧堂出版, 1985. pp. 187-236.

4) Marsh, R. M.: Comparative Sociology: A condification of cross-societal analysis. Harcourt, Brace & World, Inc., London, 1967. p. 93.

## ② 編集書・監修書

執筆者名:「章名」. 編集者名(編), 書名. 発行所, 発行地(欧文の場合), 西暦年数, 始頁-終頁.

例 5) 緒方道彦:「健康科学の目的と意義」. 九州大学健康科学センター(編), 健康の科学-現代生活と健康処方-, 学術図書出版社, 1986. p 2-6.

6) Adams, J. A.: Some mechanisms of motor learning. In Bilodeau, E. A. (Ed.), Acquisition of skill. Academic Press, New York, 1966. pp. 169-200.

## ③ 翻訳書

カタカナ著者名(翻訳者名):書名. 発行所, 西暦年数. 始頁-終頁.(著者名, 書名, 発行所, 発行地, 西暦年数.)

例 7) バド・ウインター(荒井貞光訳):リラックスープレッシャーへの挑戦-. ベースボール・マガジン社, 1984. Pp. 325. (Winter, L. B.: Relax & Win Championship Performance in Whatever You Do. A. S. Barnes & Company, Inc., San Diego, 1981.)

8) 校正:編集委員会の決定した期日内で, 校正はすべて著者によって行われる。

9) 別刷料:別刷50部を無料とする。それ以上の別刷を必要とする著者は, 必要部数を投稿時に申し込む。但し, その分の実費は著者負担とする。

(平成元年1月 改正)